

## 社会福祉法人浴光会定款

平成14年 6月25日改定

平成17年 2月21日改定

平成19年 1月10日改正

平成19年11月16日改正

平成23年12月 9日改正

平成25年 4月10日改正

平成27年 6月11日改正

平成28年 9月13日改正

平成29年 2月17日改正

平成29年 6月 7日改正

## 第一章 総 則

### (目 的)

第 一 条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

#### (1) 第一種社会福祉事業

(イ) 特別養護老人ホームの経営

(ロ) 軽費老人ホームの経営

#### (2) 第二種社会福祉事業

(イ) 無料又は低額な料金で診療を行う事業の経営

(ロ) 保育所の経営

(ハ) 老人短期入所事業の経営

(ニ) 老人デイサービスセンターの経営

(ホ) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営

(ヘ) 老人居宅介護等事業の経営

(ト) 放課後児童健全育成事業の経営

### (名 称)

第 二 条 この法人は、社会福祉法人浴光会という。

### (経営の原則等)

第 三 条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域の独居高齢者、子育て世帯、経済的に困窮する者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

### (事業所の所在地)

第 四 条 この法人の主たる事務所を東京都国分寺市東恋ヶ窪4丁目2番地2に置く。

2 前項のほかこの法人の従たる事務所を静岡県御殿場市茱萸沢字藤蔵畑198番地の1に置く。

## 第二章 評議員

(評議員の定数)

第五 条 この法人に評議員七名以上八名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第六 条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、事務局員二名、外部委員二名の合計四名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の一名以上が出席し、かつ、外部委員の一名以上が賛成することを要する。

(評議員の任期)

第七 条 評議員の任期は、選任後四年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 評議員は、第五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第八 条 評議員の報酬は、これを支弁しない。ただし、評議員には費用を弁償することができる。

## 第三章 評議員会

(構 成)

第九 条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権 限)

第一〇 条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事並びに会計監査人の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開 催)

第一一 条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後三箇月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招 集)

第一二 条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。
- 3 評議員会に議長を置き、議長はその都度選任する。

(決 議)

第一三 条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の三分の二以上に当たる多数をもって行わなければならない。
  - (1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第一項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第一五条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。
- 4 第一項及び第二項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

（議 事 録）

第一四条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び評議員会に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人二名が、前項の議事録に署名又は記名押印する。

#### 第四章 役員及び会計監査人並びに職員

（役員及び会計監査人の定数）

第一五条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理 事 六名以上七名以内
  - (2) 監 事 二名
- 2 理事のうち一名を理事長とする。
  - 3 理事長以外の理事のうち、一名を業務執行理事とする。
  - 4 この法人に会計監査人を置く。

（役員及び会計監査人の選任）

第一六条 理事及び監事並びに会計監査人は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（理事の職務及び権限）

第一七条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

- 3 理事長及び業務執行理事は、毎会計年度に四箇月を超える間隔で二回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第一八条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(会計監査人の職務及び権限)

第一九条 会計監査人は、法令で定めるところにより、この法人の計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書）並びにこれらの附属明細書及び財産目録を監査し、会計監査報告を作成する。

- 2 会計監査人は、いつでも、次に掲げるものの閲覧及び謄写をし、又は理事及び職員に対し、会計に関する報告を求めることができる。

(1) 会計帳簿又はこれに関する資料が書面をもって作成されているときは、当該書面

(2) 会計帳簿又はこれに関する資料が電磁的記録をもって作成されているときは、当該電磁的記録に記録された事項を法令で定める方法により表示したもの

(役員及び会計監査人の任期)

第二〇条 理事又は監事の任期は、選任後二年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 理事又は監事は、第一五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。
- 4 会計監査人の任期は、選任後一年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、その定時評議員会において別段の決議がされなかったときは、再任されたものとみなす。

(役員及び会計監査人の解任)

第二一条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
  - (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。
- 2 会計監査人が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。
- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
  - (2) 会計監査人としてふさわしくない非行があったとき。
  - (3) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。
- 3 監事は、会計監査人が、前項各号のいずれかに該当するときは、監事全員の同意により、会計監査人を解任することができる。この場合、監事は、解任した旨及び解任の理由を、解任後最初に招集される評議員会に報告するものとする。

(役員及び会計監査人の報酬等)

第二二条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

- 2 会計監査人に対する報酬等は、監事の過半数の同意を得て、理事会において定める。

(職員)

第二三条 この法人に、職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

## 第五章 理事会

(構成)

第二四条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第二五条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第二六条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。
- 3 理事会に議長を置き、議長はその都度選任する。

(決議)

第二七条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第二八条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

## 第六章 資産及び会計

(資産の区分)

第二九条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産、公益事業用財産及び収益事業用財産の四種とする。

- 2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 建物

ア. 東京都国分寺市東恋ヶ窪4丁目2番地3・2番地4・2番地5・2番地1・2番地20所在鉄筋コンクリート造陸屋根4階建国分寺病院本館

一棟 (延2,758.75平方メートル)

ア.の附属建物

鉄骨造陸屋根3階建国分寺病院本館 (延270.00平方メートル)

イ. 東京都国分寺市東恋ヶ窪4丁目5番地1所在の鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付4階建国分寺病院東館及び保育所浴光保育園園舎

一棟 (延2,181.06平方メートル)

イ.の内、国分寺病院東館 専有床面積 (延1,537.96平方メートル)

保育所浴光保育園園舎 専有床面積 (延596.67平方メートル)

ウ. 東京都国分寺市東恋ヶ窪3丁目23番地8所在の鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付3階建軽費老人ホーム・老人デイサービスセンターあじさい苑



- 一棟 (延2, 534.46平方メートル)
- エ. 東京都国分寺市東恋ヶ窪3丁目28番地17、28番地15所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建国分寺病院看護婦寮
- 一棟 (延 388.71平方メートル)
- オ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生1263番地・1281番地2・1280番地3・1263番地2・1264番地所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建特別養護老人ホーム羽生の里
- 一棟 (延3, 880.96平方メートル)
- カ. 静岡県御殿場市茱萸沢字藤蔵畑198番地1所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺3階建老人ホームぐみさわ苑
- 一棟 (延2, 395.81平方メートル)
- カ. の付属建物
- 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建事務所 (延 100.10平方メートル)
- キ. 東京都国分寺市東恋ヶ窪二丁目17番地2、17番地3、17番地9、17番地10所在の鉄筋コンクリート造陸屋根4階建特別養護老人ホームかがやき
- 一棟 (延5, 035.41平方メートル)
- ク. 東京都国分寺市西町一丁目31番地2所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建特別養護老人ホームサンライト
- 一棟 (延5, 230.98平方メートル)
- (2) 土地
- ア. 東京都国分寺市東恋ヶ窪4丁目2番1所在の無料低額診療事業(国分寺病院)敷地
- 一筆 ( 2313.54平方メートル)
- イ. 東京都国分寺市東恋ヶ窪4丁目1番75所在の無料低額診療事業(国分寺病院)敷地
- 一筆 ( 70.50平方メートル)
- ウ. 東京都国分寺市東恋ヶ窪4丁目5番1所在の無料低額診療事業(国分寺病院)敷地
- 一筆 ( 1,091.85平方メートル)
- エ. 東京都国分寺市東恋ヶ窪3丁目23番8所在軽費老人ホーム・老人デイサービスセンターのあじさい苑敷地
- 一筆 ( 1,933.44平方メートル)
- オ. 東京都国分寺市東恋ヶ窪3丁目28番17所在の国分寺病院看護婦寮敷地
- 一筆 ( 247.97平方メートル)
- カ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生1259番1所在の特別養護老人ホーム羽生の里敷地
- 一筆 ( 255平方メートル)
- キ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生1263番所在の特別養護老人ホーム羽生の里敷地
- 一筆 ( 1,992平方メートル)
- ク. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生1264番所在の特別養護老人ホーム羽生の里敷地
- 一筆 ( 1,262平方メートル)
- ケ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生1280番1所在の特別養護老人ホーム

- 羽生の里敷地 一筆 ( 228 平方メートル)
- コ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生 1280 番 2 所在の特別養護老人ホーム  
羽生の里敷地 一筆 ( 370 平方メートル)
- サ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生 1281 番 2 所在の特別養護老人ホーム  
羽生の里敷地 一筆 ( 1,604.55 平方メートル)
- シ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生 1281 番 4 所在の特別養護老人ホーム  
羽生の里敷地 一筆 ( 65 平方メートル)
- ス. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生 1281 番 6 所在の特別養護老人ホーム  
羽生の里敷地 一筆 ( 663 平方メートル)
- セ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生 1251 番 3 所在の特別養護老人ホーム  
羽生の里敷地 一筆 ( 28 平方メートル)
- ソ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生 1252 番 1 所在の特別養護老人ホーム  
羽生の里敷地 一筆 ( 338 平方メートル)
- タ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生 1263 番 2 所在の特別養護老人ホーム  
羽生の里敷地 一筆 ( 182.54 平方メートル)
- チ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生 1264 番 2 所在の特別養護老人ホーム  
羽生の里敷地 一筆 ( 26 平方メートル)
- ツ. 東京都西多摩郡日の出町大字大久野字羽生 1280 番 3 所在の特別養護老人ホーム  
羽生の里敷地 一筆 ( 332.54 平方メートル)
- テ. 静岡県御殿場市茱萸沢字藤蔵畑 198 番 1 所在の老人ホームぐみさわ苑敷地  
一筆 ( 3594.30 平方メートル)
- ト. 東京都国分寺市東恋ヶ窪 4 丁目 5 番 2 所在の保育所 (浴光保育園) 園庭  
一筆 ( 674.07 平方メートル)

- 3 その他財産は、基本財産、公益事業用財産及び収益事業用財産以外の財産とする。
- 4 公益事業用財産及び収益事業用財産は、第三七条に掲げる公益を目的とする事業及び第三八条に掲げる収益を目的とする事業の用に供する財産とする。
- 5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第二項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第三〇条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、東京都知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、東京都知事の承認は必要としない。

- 一 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- 二 独立行政法人福祉医療機構と協調融資 (独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備

のための資金に対する融資をいう。以下同じ。)に関する契約を結んだ民間金融期間に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資にかかる担保に限る。)

(資産の管理)

第三一条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第三二条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所及び従たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第三三条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、かつ、第 3 号から第 6 号までの書類について会計監査人の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
  - (2) 事業報告の附属明細書
  - (3) 貸借対照表
  - (4) 収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)
  - (5) 貸借対照表及び収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)の附属明細書
  - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第 1 号、第 3 号、第 4 号及び第 6 号の書類については、定時評議員会に報告するものとする。ただし、社会福祉法施行規則第二条の三九に定める要件に該当しない場合には、第 1 号の書類を除き、定時評議員会への報告に代えて、定時評議員会の承認を受けなければならない。
  - 3 第一項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に五年間、また、従たる事務所に三年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
    - (1) 監査報告
    - (2) 会計監査報告
    - (3) 理事及び監事並びに評議員の名簿
    - (4) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(5) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第三四条 この法人の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第三五条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第三六条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の三分の二以上の同意がなければならない。

## 第七章 公益を目的とする事業

(種別)

第三七条 この法人は、社会福祉法第二六条の規定により、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として次の事業を行う。

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 国分寺市病後児保育事業
- (3) 訪問看護事業
- (4) 有料老人ホーム事業

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の三分の二以上の同意を得なければならない。

## 第八章 収益を目的とする事業

(種別)

第三八条 この法人は、社会福祉法第二六条の規定により、次の事業を行う。

- (1) 不動産賃貸事業

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の三分の二以上の同意を得なければならない。

(収益の処分)

第三九条 前条の規定によって行う事業から生じた収益は、この法人の行う社会福祉事業

又は公益事業（社会福祉法施行令（昭和三三年政令第一八五号）第十三条及び平成一四年厚生労働省告示第二八三号に掲げるものに限る。）に充てるものとする。

## 第九章 解散

（解 散）

第四〇条 この法人は、社会福祉法第四六条第一項第一号及び第三号から第六号までの解散事由により解散する。

（残余財産の帰属）

第四一条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

## 第一〇章 定款の変更

（定款の変更）

第四二条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、東京都知事の認可（社会福祉法第四五条の三六第二項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を東京都知事に届け出なければならない。

## 第一一章 公告の方法その他

（公告の方法）

第四三条 この法人の公告は、社会福祉法人浴光会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

（施行細則）

第四四条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

- 1 この法人の設立当初の役員は、次の通りとする。ただし、この法人の設立後遅滞なく、定款にもとづき、役員を選任を行うものとする。

理 事	下 松 桂 馬
同	安 藤 為 造
同	篠 崎 彦 郎
同	猪 原 そ め
監 事	里 見 馬 城 夫
同	木 田 徹 郎

- 2 現役員の任期は、この定款第六条第1項の定めにかかわらず、昭和62年2月1日までとする。
- 3 平成3年12月25日付定款変更認可申請に係る評議員会新設に伴い選任される評議員の任期は、定款第十七条の規定にかかわらず平成5年2月1日までとする。